

消 防



消 防

近年における社会環境の急激な変化は、火災、その他の災害を著しく複雑多様化し、消防に関する行政需要はますます増加の傾向にある。

このような情勢に対処するため消防機関として、1本部、2署、1分署、職員126人及び、1団本部、17分団、団員779人が、12万5千市民の生命、身体、財産を各種災害から守るべく、防火防災の任に当たっている。

また、消防行政効果をより一層高めるために、市民の理解と協力を得て、幼・少年消防クラブ、婦人防火クラブ、防火管理協会、危険物安全協会、自衛消防隊等の民間団体を組織するとともに、自治会主体の自主防災組織の結成に協力し、民消一体の総合防災体制づ

くりを強力に推進する一方、職員及び団員の資質の向上を図っている。

また、高齢化の更なる進展や住民意識の変化に伴う救急需要対策として、救急救命士の養成の拡大、メディカルコントロール体制の構築、高規格救急自動車や救急資機材の計画的更新整備・充実強化等に取り組み、救急救命率の向上を図っている。

活力ある組織づくり、消防団の活性化の一つとして女性消防団員の活動拡大、予防体制及び自主的防災体制の強化等を図りながら、防災体制の充実により、「安全で安心して快適に暮らせる新居浜市」の実現を目指している。

1 消 防 庁 舎

施設名	所在地	敷地面積(m ²)	建築物構造		床面積(m ²)	計(m ²)	建築年月等
消防本部 北消防署	一宮町一丁目 5番1号 ☎34-0119	3,421.52 (市庁舎含む)	庁舎	鉄筋コンクリート一部鉄骨造陸屋根4階建	延 3,621.84	3,875.83	昭和 58. 3 新築
			倉庫	鉄骨一部鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	延 181.97		
			訓練塔	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	延 19.22		
			水防倉庫	鉄骨コンクリートブロック造平家建	38.94		53.12 新築
			土のう置場	鉄骨造折板葺平家建	12.15		58. 3 新築
			コンプレッサー置場	鉄骨造カラー鉄板瓦棒葺平家建	1.71		
北消防署 川東分署	松神子一丁目 8番20号 ☎34-0119	1,550.40 (支所含む)	庁舎	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	延 624.23 (内 522.86使用)	593.16	61. 2 増築
			倉庫	鉄骨コンクリートブロック造陸屋根平家建	66.00		54. 3 新築
			プロパン庫及びボイラー室	コンクリートブロック造大波スレート葺平家建	4.30		

施設名	所在地	敷地面積(m ²)	建築物構造		床面積(m ²)	計(m ²)	建築年月等
南消防署	喜光地町一丁目 5番9号 ☎34-0119	2,206.74 (支所含む)	庁舎	鉄筋コンクリート 造陸屋根 2階建	延 992.28 (内686.78使用)	866.99	昭和 55.3 新築
			倉庫	鉄骨造大波 スレート葺 平家建	66.00		平成 元.3 新築
			車庫	鉄骨造大波 スレート葺 平家建	107.61		昭和 53.12 新築
			プロパン庫 及び ボイラー室	コンクリート ブロック造大波 スレート葺平家建	6.60		

2 消 防 力

(1) 現有消防力

(23.4.1 現在)

種 別		区 別	現 有 消 防 力
人 員	警 防 要 員		52 人
	予 防 要 員		11 人
	そ の 他 要 員		63 人
	計		126 人
署 所 の 数	消 防 署 所 数		3
自 動 車 等	ポ ン プ 自 動 車	普通消防ポンプ自動車	7
		水槽付消防ポンプ自動車	
	は し ご 自 動 車	はしご付消防ポンプ自動車	2
		はしご付消防自動車	
	化学消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	2
	救 急 自 動 車	高規格救急自動車	3
		救急自動車(2B)	2
	救 助 工 作 車	救 助 工 作 車	2
計		18	

(2) 装 備

(23. 4. 1 現在)

装 備 名		区 分	計	本 部	北 消 防 署	川 東 分 署	南 消 防 署
普通消防ポンプ自動車			5		2	1	2
水槽付消防ポンプ自動車			2		1		1
はしご付消防ポンプ自動車			1				1 (15m級)
はしご付消防自動車			1		1 (40m級)		
化学消防ポンプ自動車			2		1	1	
小型動力ポンプ付水槽車			1		1 (Ⅱ型)		
小型動力消防ポンプ			7		4	2	1
指 令 車			1	1			
調 査 車			1	1			
指 揮 車			1	1			
警 防 車			1		1		
小型動力ポンプ積載車			3		1	1	1
広 報 車			1		1		
救急自動車	高 規 格		3		1	1	1
	普 通		2		1		1
救 助 工 作 車			2		1 (Ⅲ型)		1 (Ⅱ型)
消 防 人 員 搬 送 車			1		1		
消 防 防 災 車			1	1			
消 火 ・ 通 報 訓 練 指 導 車			1		1		
消 防 専 用 超 短 波 無 線 電 話	基地局固定局		1※		1		
	移 動 局		29	4	13	4	8
	携 帯		29	3	12	6	8
一 斉 指 令 装 置			1		1		

※ 別に別子山中継局（基地局2、固定局2）があります。

(3) 高規格救急自動車及び救助工作車Ⅲ型の概要

ア 高規格救急自動車の概要

平成17年12月に北消防署、平成19年12月に南消防署、平成17年3月に川東分署の高規格救急自動車が更新され、救急救命士による高度な救命活動が図られている。

高規格救急自動車は車内空間が広く確保され、立ったままの救命活動が可能であり、多数の高度救命資機材を装備している。

イ 高度救命資機材の概要

(ア) 自動体外式除細動器 (AED)

心筋梗塞などにより、心臓がけいれんした場合、電気ショックを与えて、動きを正常に戻す装置

(イ) 輸液ポンプ

様々な救急薬剤を投与するためのポンプ

(ウ) 防振ベッド

搬送中、患者にかかる振動をやわらげるベッド

ウ 救助工作車Ⅲ型の概要

平成8年3月、北消防署に救助工作車Ⅲ型が導入され、初期の救助活動が迅速に対応できる体制が強化された。

また、同時に高度救助資機材も多数導入されている。

エ 高度救助資機材の概要

(ア) ファイバースコープ

地震等で崩壊した家屋の下敷きになっている人や、崖崩れで埋まった人を救助する時、隊員が侵入できないところを映し出す超小型カメラ

(イ) 地中音響探知機

埋まった人の声や、呼吸音等のかすかな音を検索する装置

(ウ) 夜間暗視装置

夜間、暗闇の中を検索する装置

(エ) 熱画像直視装置

人の体温を感じ取り、温度差で要救助者を検索する装置

(4) 消防水利施設の状況

年度	種別	井戸	水 槽		プー ル	消 火 栓 (地下式)	計
			水	うち耐震性水槽			
17		107	399	10	40	2,180	2,726
18		107	402	12	40	2,195	2,744
19		108	396	14	38	2,212	2,754
20		99	403	16	38	2,222	2,762
21		100	407	19	38	2,230	2,775
22		100	405	19	38	2,252	2,795

(5) 高機能消防指令センター

本施設は、複雑多様化する災害及び携帯電話・インターネット等、通信情報分野の普及拡大に対応し、防災体制の充実を図るため、平成17年4月1日から運用を開始した。

ア 主要機器の概要

(ア) 指令装置

119番通報者からの災害、救急通報の受付、各署々等に対する指令、無線連絡、病院等関係先への連絡など、通話系機能を有する。

(イ) 新発信地表示システム

本システムを利用することにより、NTT固定電話、携帯電話及びIP電話からの119番通報受信時において自動的に通報者の発信地情報を取得し、災害点が瞬時に決定されるので出動指令までの時間が短縮される。

(ウ) 自動出動指定装置

災害通報の受付から事案終了までの指令管制業務を処理し、各種周辺機器の制御を行う。

(エ) 地図検索装置等

自動出動指定装置、新発信地表示システムと連動し、災害点の地図表示、各種支援情報の表示等を行う。

(オ) 情報表示盤

・車両運用表示盤

消防車両の動態状況を表示する。

・支援情報表示盤

119番の着信先・件数、気象情報等、消防活動に必要な情報を表示する。

・多目的表示盤

70インチの画面に災害場所、状況、詳細な気象情報、監視カメラ画像等を表示する。

(カ) 無線統制台

消防無線（市波・団波・県波・全国波・救急波）を一括して管理し、無線交信の統制を行う。

(キ) 指令伝送装置

自動出動指定装置・地図検索装置と連動し、各署に設置された出力装置から災害場所、出動車両等を表示した地図付きの指令書を出力する。

(ク) 気象観測装置

風向、風速、気温、湿度、気圧、雨量を自動的に記録し表示する。

雨量計については一宮町、立川、大生院、多喜浜、別子山の5箇所に設置

また、雨量情報は新居浜市のホームページから過去5日間の情報が閲覧できる。

(ケ) 順次指令装置

消防職員、団員、関係職員等に災害の発生等を自動的に電話、Eメールで通知し非常招集を行う装置

(コ) サイレン吹鳴装置

市内16箇所に設置した消防サイレンを災害場所別に吹鳴することにより、消防団員等の非常招集を行う装置

(サ) 出動車両運用管理装置

地図、各種支援情報、カーナビゲーション機能を搭載した端末が各消防車両に設置されており、災害発生時には災害点の地図、情報等が表示されるので、効率的な災害対応ができる。

(シ) 災害等案内装置

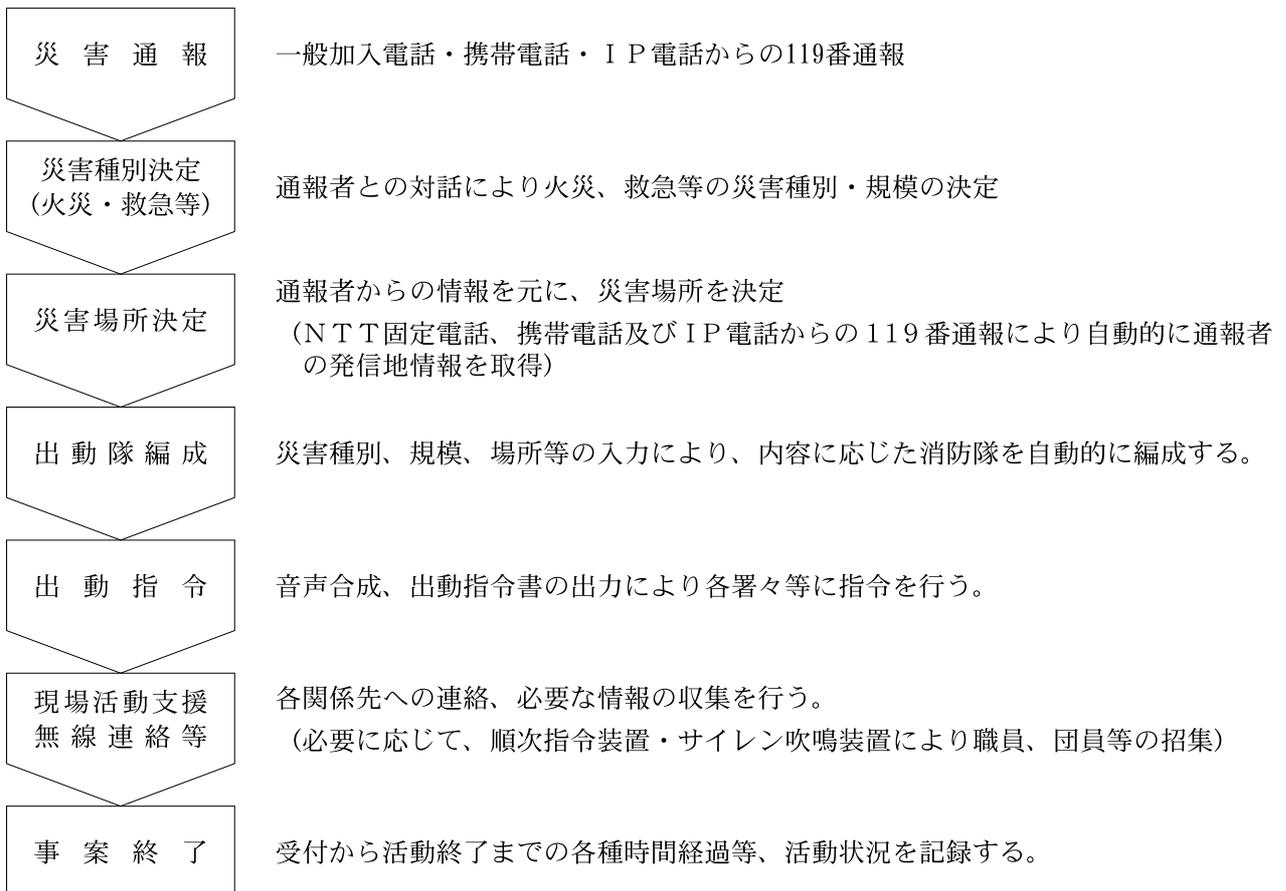
テレホンサービス(33-6800)に災害発生場所及び休日当番医等の情報を提供する。

また、平成20年4月から災害等の発生状況を携帯電話等に「メールマガジン」でリアルタイムにサービスを開始する。防災・火災・救急情報は新居浜市のホームページから過去数日間の情報が閲覧できる。

(ス) 画像伝送装置

ビデオカメラ等で撮影した災害現場の画像を携帯電話を使用し電送する装置で車両固定型と携帯型の2種類で運用する。

イ 災害処理の流れ



3 火 災 統 計

(1) 概 況

年	区分	火災件数	火災種別					焼失棟数			罹災世帯数			罹災人員	死傷者	
			建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	全損	半損	小損		死者	傷者
18		42	38	1	1	0	2	11	3	13	10	3	19	93	4	5
19		43	29	3	6	0	5	12	3	9	10	1	16	74	5	4
20		32	29	0	1	0	2	21	3	13	10	4	20	87	5	6
21		29	23	0	1	0	5	5	2	6	5	2	12	49	1	4
22		34	29	0	4	0	1	15	9	5	14	5	16	74	3	6

損失面積			損 害 額					計
建物	林野	建物内容品を含む	林野	車両	船舶	その他		
m ²	a	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
1,009	0	50,992	0	290	0	50	51,332	
1,023	2	72,784	0	900	0	200	73,884	
1,925	0	118,852	0	200	0	135	119,187	
864	0	76,908	0	120	0	0	77,028	
4,370	0	302,845	0	1,084	0	0	303,929	

(2) 原因別火災発生件数

年	区分	ストーブ	たばこ	たき火	こんろ	放(疑い含む)火	火遊び	火の粉	取灰	交通	煙突	不	明	そ	の	他	計
19	2	2		7	5							17	10	43			
20	4	2		6	7							5	8	32			
21		5	2	5	4	1						4	8	29			
22	6	8	1		7	2		1				4	5	34			

4 危険物製造所等設置許可状況

(単位：件)

対象物件		20			21			22		
		許可	廃止	現在	許可	廃止	現在	許可	廃止	現在
総	数	25	39	1,244	35	19	1,260	18	38	1,240
製	造 所	3	1	45	1		46			46
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	4	2	145			145	2	2	145
	屋 外 貯 蔵 所	2	1	35	1		36		1	35
	屋内タンク貯蔵所		1	8			8			8
	屋外タンク貯蔵所	6	22	513	8	5	516	4	8	512
	地下タンク貯蔵所		1	75		2	73		5	68
	簡易タンク貯蔵所			1			1			1
	移動タンク貯蔵所	6	7	125	21	6	140	11	14	137
小 計		18	34	902	30	13	919	17	30	906
取 扱 所	給 油 取 扱 所		1	89	1	2	88	1	4	85
	第 1 種 販 売 取 扱 所			1			1			1
	第 2 種 販 売 取 扱 所			2			2		1	1
	一 般 取 扱 所	4	3	186	3	4	185		3	182
	移 送 取 扱 所			19			19			19
小 計		4	4	297	4	6	295	1	8	288

5 消防・救急活動

(1) 消防活動

種類		20		21		22	
		出動延回数	出動延人数	出動延回数	出動延人数	出動延回数	出動延人数
火	災	32	561	29	481	34	657
	(うち林野火災)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
救	助 活 動	76	949	45	495	54	455
風	水 害 等 の 災 害	0	0	9	26	0	0
演	習 訓 練	249	1,379	232	1,208	283	1,386
予	防 査 察	882	2,562	786	2,326	1,039	3,117
警	防 調 査	411	1,590	416	1,624	363	1,386
原	因 調 査	32	192	29	145	34	170
特	別 警 戒	36	164	36	146	37	142
計		1,718	7,397	1,582	6,451	1,844	7,313

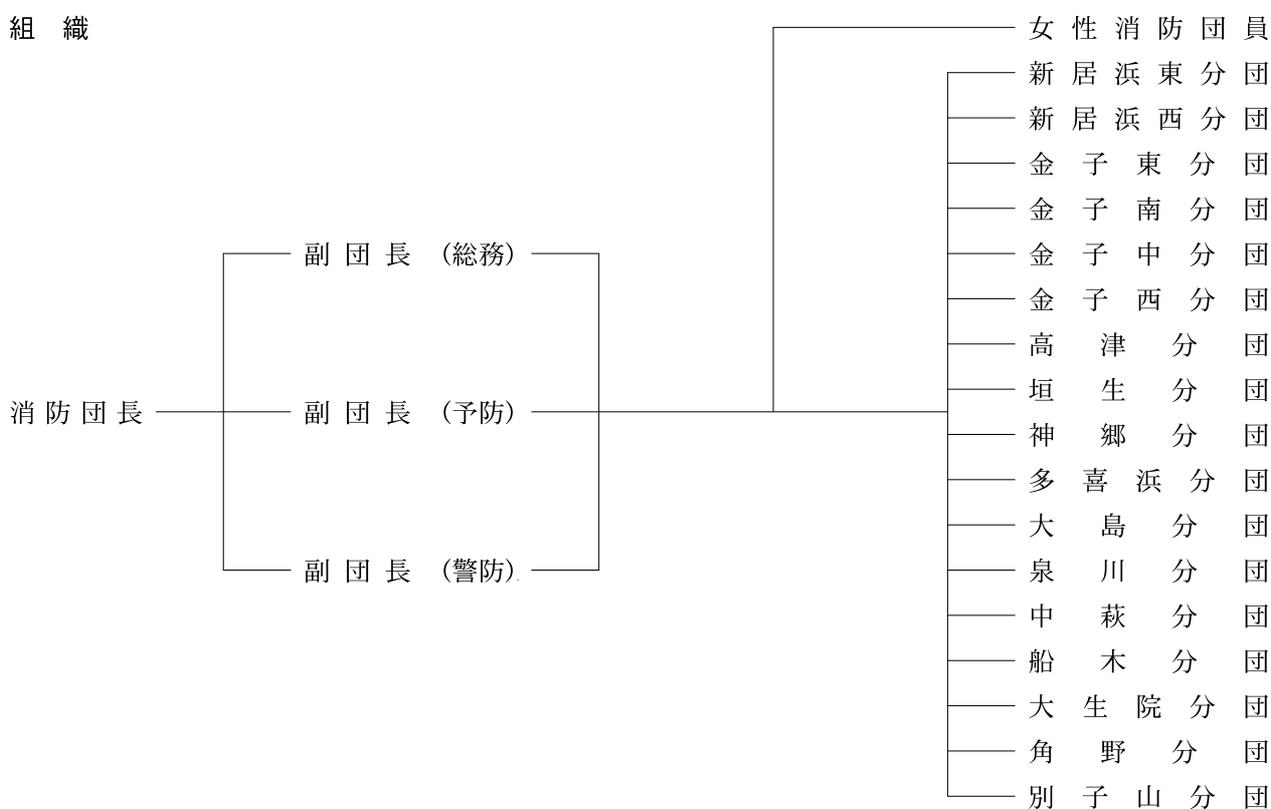
(2) 救急活動

(単位：件)

区分 年別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計	増 減 率 前 年 (%)
19	2	0	1	696	46	37	641	41	57	2,736	363	4,620	+2.1
20	5	0	1	610	37	31	652	38	51	2,718	373	4,516	-2.3
21	4	0	0	608	35	31	610	31	64	2,710	406	4,499	-3.8
22	7	0	4	579	47	28	666	22	62	2,958	469	4,842	+7.6

6 消 防 団

(1) 組 織



(2) 消防機械器具の配置等

(23. 4. 1 現在)

区分	分団別	団本部	新居浜東	新居浜西	金子東	金子南	金子中	金子西	高津	垣生	神郷	多喜浜	大島	泉川	中菰	船木	大生院	角野	別子山	計
	定数 (人)	34	33	33	39	40	33	33	65	40	55	40	33	55	60	55	48	63	33	792
	現員数 (人)	29	33	33	39	40	33	33	65	40	55	40	31	55	60	55	48	63	27	779
消防ポンプ車等	自動車	0	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	3	3	1	1	2	0	23
	小型動力ポンプ	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	2	2	4	3	4	5	44
	小型動力積載ポンプ車	0	1	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1	1	1	3	2	2	4	27

(3) 報酬及び費用弁償

ア 年報酬

(23.4.1 現在・単位：円)

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
206,000	154,400	132,100	71,200	56,900	32,200	27,400

イ 費用弁償

(23.4.1 現在・単位：円)

区 分	金 額	摘 要
家 屋 火 災 出 動	1,940	1 回につき
山 林 火 災 出 動	2,520	1 回につき (4時間を超えるときは4時間ごとに1,130円を加算する。)
水 防 出 動	2,520	1 回につき (4時間を超えるときは4時間ごとに1,130円を加算する。)
山 岳 救 助	2,520	1 回につき (4時間を超えるときは4時間ごとに1,130円を加算する。)
警 戒 出 動	1,810	1 回につき
訓 練 出 動	1,810	1 回につき
火災予防又は救急指導啓発	1,810	1 回につき
地水利調査又は立入検査	1,810	1 回につき
賄 費	940	食事を必要とする出動をした場合 1 回につき
機 関 員 手 当	1,540	月 額
被 服 損 料	2,960	年 額

(4) 活動状況

種別	年 区 分	20		21		22	
		出動延回数	出動延人数	出動延回数	出動延人数	出動延回数	出動延人数
火 災		17	1,226	13	1,007	14	1,034
警 戒		79	4,009	63	3,961	63	3,993
訓 練		195	8,737	244	12,818	236	11,194
水 防		0	0	0	0	0	0
計		291	13,972	320	17,786	313	16,221

